

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 23 日

事業名称		男女共同参画推進事業費 [男女共同参画推進事業]																																																							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 14	女性施策費	事業番号	1																																																	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																								
担当部署・課長名	地域振興課					消費・共同参画係	係	課長名	石川 正憲																																																
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	5 - 1																																																	
【施策名】 人権尊重・男女共同参画社会の確立							総合計画書 (ページ)	105																																																	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)																																																				
	市民				①人口 → ②市職員数(4月1日現在)																																																				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)																																																				
	女性と男性が共にその個性や能力を生かし、あらゆる分野に参画できる社会への意識を高める。				川柳応募者数																																																				
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)																																																				
	①男女共同参画週間の取組 ②男女共同参画川柳の募集 ③男女共同参画情報誌「はーもにい」の発行 ④職員向け情報提供「男女共同参画のススめ」 ⑤男女共同参画川柳メモ帳の作成・配布				①男女共同参画週間でのパネル展示 ②川柳に係るチラシ配布数・ポスター掲示数 ③情報誌の発行部数 → ④情報提供数 ⑤メモ帳の印刷部数																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度実績</th> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度目標</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>①85,698 ②476</td> <td>①85,337 ②471</td> <td>①85,266 ②473</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>人</td> <td>159</td> <td>203</td> <td>370</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目 標</td> <td>②の目標値</td> <td>人</td> <td>315</td> <td>315</td> <td>315</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">目標値設定の考え方 前年度実績をもとに算出している。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td></td> <td>①124,852、 55③32,000④ 2⑤24,000</td> <td>①126,293、 74③32,000④ 13⑤16,000</td> <td>①124,548、90 ③31,000④16⑤ 16,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	対象指標	①の数値	人	①85,698 ②476	①85,337 ②471	①85,266 ②473		成果指標	②の数値	人	159	203	370		目 標	②の目標値	人	315	315	315		目標値設定の考え方 前年度実績をもとに算出している。						活動指標	③の数値		①124,852、 55③32,000④ 2⑤24,000	①126,293、 74③32,000④ 13⑤16,000	①124,548、90 ③31,000④16⑤ 16,000								
		単位	過去2年間の実績				当該年度	成果目標																																																	
平成30年度実績			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標																																																			
対象指標	①の数値	人	①85,698 ②476	①85,337 ②471	①85,266 ②473																																																				
成果指標	②の数値	人	159	203	370																																																				
目 標	②の目標値	人	315	315	315																																																				
	目標値設定の考え方 前年度実績をもとに算出している。																																																								
活動指標	③の数値		①124,852、 55③32,000④ 2⑤24,000	①126,293、 74③32,000④ 13⑤16,000	①124,548、90 ③31,000④16⑤ 16,000																																																				
3 経費	事業費(実績)		円	3,144,550	5,706,101	6,223,661	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																		
	財源	一般財源	円	3,144,550	5,706,101	6,223,661																																																			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0																																																			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0																																																			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.8	0.8	0.8																																																			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0																																																			
		職員人件費(再任用以外)	円	6,595,200	6,648,000	6,704,000																																																			
事業費+人件費		円	9,739,750	12,354,101	12,927,661																																																				
4 環境変化等	(1) 開始年度 56 年度																																																								
	(2) 環境の変化 昭和56年に女性問題施策に関連する庁内連絡会議が設置され、「東大和市婦人行動計画」策定に向けた検討を開始したのが始まりである。近年は、共働きも増えたことから職場での女性登用など男女平等は比較的進んでいる。しかし、家庭においてはまだまだ介護や育児、家事は女性の仕事であるという意識がある。平成27年9月に施行された「女性活躍推進法」により女性管理職の登用や出産後も働き続けるための環境づくり等の取組について進めていく必要がある。																																																								

事業名称	男女共同参画推進事業費 [男女共同参画推進事業]			
担当部署・課長名	地域振興課	課	消費・共同参画係	係 課長名 石川 正憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 公募市民等で構成されている男女共同参画推進審議会において、審議会の女性比率向上や庁内関係機関との連携した取組の推進等、男女共同参画社会の実現を目指すためにも専任の部署（係）及び拠点となる施設の設置について、中長期的な計画の中で具体化していくことが求められている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：は－もに－い）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 男女共同参画情報誌編集委員について、4月15日から2か月間募集を行ったが、結果として応募がなかった。平成31年度の男女共同参画情報誌編集委員の協力で作成し発行することができたが、長期的な視点でみた場合、市民協働のあり方を考えなければならない。			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 令和3年度からの男女共同参画推進計画策定にあたり、市民意識調査を基礎資料として現状分析を行い、現行計画である第二次東大和市男女共同参画推進計画（改訂版）の課題の整理を行う。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 市民意識調査を基礎資料として現状分析を行い、現行計画である第二次東大和市男女共同参画推進計画（改訂版）の課題の整理を行った。その課題や社会情勢の変化に対応するため、「第三次東大和市男女共同参画推進計画」を策定した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 「第三次東大和市男女共同参画推進計画」で掲げる施策や事業を着実に推進するためには、全庁で取り組む必要がある。そのために、組織横断的な視点で計画の推進に取り組む庁内推進体制の充実に努める必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 人権尊重・男女共同参画社会の確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 「第三次東大和市男女共同参画推進計画」で掲げる施策や事業を推進するため、PDCAサイクルで計画の進捗管理を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	施策の実施状況の把握・評価については、施策に関連する事業の実施・未実施の確認だけではなく、その事業が男女共同参画の視点に立って実施されているかどうか、また男女共同参画の推進に寄与しているかどうかを把握・評価する必要がある、担当部署に計画の目的や評価基準を周知することが必要になる。			